

畑地かんがい現地研修会を開催しました

令和7年9月24日、県営畑地帯総合整備事業「下結城地区」（八千代町）において、当用水地区畑かんマイスターの大里翔太氏の実証圃場で畑地かんがい現地研修会を開催しました。

研修会には霞ヶ浦用水受益農家の方や県・市町関係機関の方など69名の参加があり、参加者へ当協議会から用水を使用したキャベツ栽培のかん水効果を説明し、結城地域農業改良普及センター様より病虫害対策について情報提供をいただきました。

また、かん水資機材を販売している株式会社イーエス・ウォーターネット、住化農業資材株式会社に協力をいただき、かん水資機材（レインガンや散水チューブ等）の使用方法的説明と、畑総事業により整備された給水栓に接続し、かん水実演を行いました。

今年度には、例年になく高温少雨に見舞われ畑総下結城地区 青木組合長からは「霞ヶ浦用水が無くては、作付け出来ない状況であった」とのお話をいただきました。

畑地帯総合整備事業により整備された畑では、畑地かんがい施設の導入により用水を使用した計画的な営農や作業の効率化、品質や収量の向上を図ることが可能となります。

今後も、畑地整備の推進、用水利用の拡大にご理解ご協力をお願いします。



9 / 24 生育状況（キャベツ）

